

あなたの  
書き損じはがきが、

文字を知り、  
学ぶ喜びが、

子どもたちを笑顔にします。



15歳のラン君(左)は3年生で学校を退学し、家族が食べていけるよう農作業などを手伝っていました。寺子屋で再び学び始めた今も、毎日、水汲みや牛の世話をしています。手にしているのは、「世界寺子屋運動」名古屋実行委員会が実施したワークショップで日本人参加者が作成した現地・クメール語で書いたメッセージカード。「日本の子が書いたの?! すごいね、読めるよ!」文字で私たちの思いが届き、子どもたちを笑顔にした瞬間です。

書き損じはがき11枚で  
1人が1ヶ月学べます!

\*カンボジアの場合

書き損じはがき、未使用はがき・切手をご寄付ください。

回収箱は、区役所、図書館、郵便局等に設置しています。



Webもチェック!

“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会



# 皆さまからの支援金は、このように使われています！



寺子屋の建設



教具・教材の提供



寺子屋で文字を学んだソバルさん。今では寺子屋の幼稚園の先生・図書館スタッフ・運営委員です。「29歳まで読み書きができませんでした。寺子屋での学びで、人生が大きく変わりました」



教師の養成・授業の運営



生活向上プログラム

“世界寺子屋運動”では、現地の人々の自立につながる、彼らのニーズを大切にされた支援活動を行っています。

## 書き損じはがきが支援金になるしくみ

### 1.受付

みなさまから書き損じはがきをご寄付いただけます。

### 2.整理

(公財)名古屋国際センターの国際協力ボランティアがはがきを仕分けします。

### 3.交換

郵便局で切手や新しいはがきに交換します。

### 4.販売

切手やはがきを企業や協力団体に購入してもらい、資金化します。

### 5.支援

(公社)日本ユネスコ協会連盟に送金し現地の識字教育を支援します。

### 書き損じはがきとは…

- 住所を間違えた！
- 額面が古くなった！
- 印刷を失敗した！
- 余っちゃった！

など、投函していないはがきのことです。

切手やはがきをご購入いただくことも国際協力につながります！

キャンペーンキャラクター  
「はがきちゃん」



書き損じはがきキャンペーンに関するお問い合わせ・ご寄付の送付先は…

“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会  
(公財)名古屋国際センター 交流協力課内  
〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47-1  
TEL:052-581-5691 e-mail:koryu@nic-nagoya.or.jp



詳しくはこちらをご覧ください。

(送料はご負担いただきますようお願いいたします。)